

事業名 子ども食堂「ほべたん食堂」での食育講座

事業の概要



食育ソムリエによる食育講座

J A 常総ひかりでは、社会貢献活動と位置づけ、子ども食堂「ほべたん食堂」へ地元農産物の無償提供を行っている。年間予算内で子ども食堂から注文を受け付け、J A が運営する農産物直売所から食材を提供。地域内にお金と食材の流れをつくることで、生産者への売上げに貢献するとともに、地域農業理解につなげている。この流れをさらに効果的にすすめるために、J A 職員が「食と農をつなぐ食育ソムリエ」の資格を習得し、子ども食堂開催に合わせ食育講座を行い、食の提供にとどまらず、食の学びの場づくりに取り組んでいる

背景・経緯

「ほべたん食堂」は、いばらきコープが運営する子ども食堂で、県内の複数か所で開催している。「常総ほべたん食堂」は平成29年2月にオープンし、貧困対策や子どもの居場所づくりを目的にしている。

みなさまのお越しを「ほべたん食堂」でお待ちしています

「ほべたん食堂」は「下妻地域交流センターわいわいハウス」で開催しています。

- 開催日 毎月第3木曜日
- 時間 午後5時～午後7時
- 場所 下妻市地域交流センター わいわいハウス (下妻市にぎわい広場Newhall1階しもつま内)
- 住 下妻市下妻丁91



生協から食材提供の依頼を受け、J A は支援のための予算を設けた。また、食材提供するだけでなく、地域や食文化までを伝える場にはできないかと考え、食育講座も実施している。

事業のポイント



子どもの貧困、食の格差が社会問題となっている中、食事を提供するだけでなく、郷土愛をはぐくみ、大人になっても役立つスキルが身につくという暖かい場にしたいと考えた。子ども食堂に「食育」の要素を付け加え、「食べに行く」だけから、前向きに食べ、学ぶという行動を子どもたちに促した。さらに、使われる食材の生産者をお招きし、農と食のつながりがイメージできるような機会を作った。生産者にとっても、自分の作った食材が子どもたちを笑顔にする瞬間に立ち合うことで、生産のモチベーション向上につながっている。

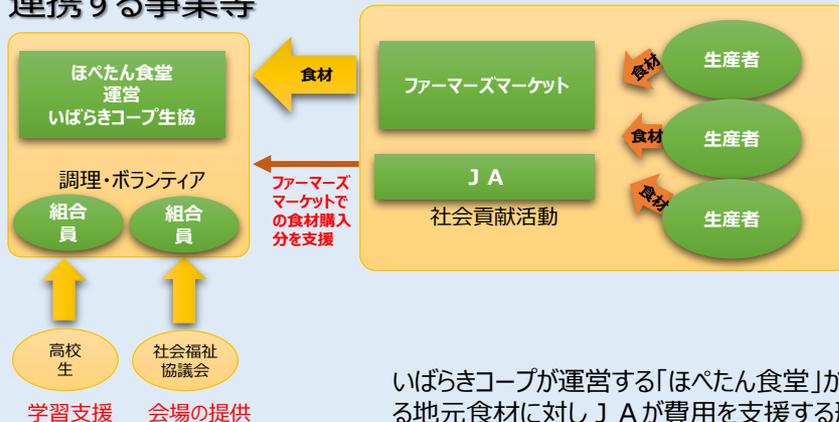
事業の効果



子ども100円
大人300円
毎月一回開催

安心安全なものを子どもたちに食べてもらいたいという生産者の想いを参加する親子が受け止め、命をいただくことへの感謝の気持ちが生まれる。さらに、一人で食べるときには感じられない共食の楽しさ、食から生まれるコミュニティが生きる力をはぐくんでいる。様々な人が未来を担う子どものためという同じベクトルを持ち、作り出されるあたたかな空間となっている。「これ、さっき話していたトマトだね」「家だと食べられないけど、ここでなら食べられる」など、出席する子どもたちの明るい声が響く。食や農への関心から、将来、就農してくれる子どもが誕生してくれたらという未来の効果も期待している。

連携する事業等



いばらきコープが運営する「ほべたん食堂」が購入する地元食材に対し J A が費用を支援する形でスタート。地域連携として、社会福祉協議会が会場となる「コミュニティカフェ」を提供し、近隣の高校生ボランティアが学習支援を実施。町全体で家族のような食卓を囲む居場所ができた。子どもの食という社会問題に対し、地域が連携し、解決するだけでなく、未来に向けた食と農の新しい価値を生み出している。